

# 歯科衛生士力を発揮しましょう!

～地域包括ケアの時代は“予防”が鍵～

- ◆地域包括ケアの背景
- ◆地域ケア会議って何? 歯科衛生士に求められる役割とは
- ◆失敗しない助言をするためのポイントとコツ
- ◆歯科領域への課題 — 生活を支える視点から —

全国に広がる  
大分県モデルの軌跡と  
地域ケア会議の  
重要性

講師

有松 ひとみ 先生

一般社団法人 大分県歯科衛生士会 会長

超高齢社会を迎え、地域包括ケアを推進していくには、“予防”の重要性を伝えていくことが鍵となります。歯科衛生士は、虫歯や歯周病はもとより、非感染症疾患の“予防”を専門としています。“予防”に特化した職種は世界中を探しても3つしかなく、その1つが私たちであります。だからこそ、今、専門性を発揮する時代であるといっても過言ではありません。大分県では日本全国に先駆け、自立支援型マネジメントのツールとして地域ケア会議に参加し、全国に広がりを見せています。その軌跡を通じて、歯科衛生士に求められている役割についてお話させていただきます。

令和2年 **10月4日** [日]

時間

9:45～16:30 (受付9:15～)

会場

京都テルサ 東館 3F D会議室

〒601-8047 京都市南区東九条殿田町70 TEL 075-692-3400(代表)

定員

50名(先着順)

受講料

無料

受講対象者

京都府在住または京都府就業

歯科衛生士 及び 在宅にかかわる専門職

※本会より介護予防教室に従事されている方含む

※訪問経験問わず興味のある方

申込み

京都府歯科衛生士会事務所

FAX(本案内裏面) または Email

\*後日、申込み受付完了の FAX 又は Email をご返信致します。



京都府歯科衛生士会QR

